

1 普通科「塩竈まちづくり活性化プロジェクト」発表会

「塩竈まちづくり活性化プロジェクト」を立ち上げ、総合的な探究の時間で生徒一人一人が地域の活性化の探究活動に取り組み、塩竈市に提言する発表会を実施した。

「塩竈まちづくり活性化プロジェクト」実行委員を招き多賀城文化センターでの実施を計画していたが、コロナ禍のためリモートによる校内発表とした。

- ①生徒会が今年度取り組んだ地域貢献活動を「私たちの志と地域貢献」として動画を配信
- ②ビジネス科3年生が課題研究で取り組んだ「地域の観光を考える」地域貢献活動で作成した「私たちが高校生にお勧めする塩竈の観光ルート」を発表
- ③普通科2年生が「総合的な探究の時間」で取り組んだ塩竈の活性化に関する様々なテーマの中から代表12班による発表。

プロジェクト実行委員	実行委員からの助言	プロジェクト発表会①
		
プロジェクト発表会②	プロジェクト発表会③	プロジェクト発表会④
		

「総合的な探究の時間」をとおり、生徒が塩竈市のまちづくりに参画し、賑わいのあるまちづくりを実現するために「塩竈まちづくり活性化プロジェクト」を立ち上げ、学識経験者、行政、商工会、地元有識者の協力を得て指導助言をいただきながら進めることができた。生徒にとっては普段の授業では経験できないことばかりで今後の学習に意欲を高められる機会となった。

学校が地域連携に取り組むことにより、生徒が学校内外の活動で地域の方々に触れ、地域に対する考え方、主体的に取り組む力や協力して物事に取り組む力が育まれる。また、地域も高校生とともに取り組むことによって様々な角度から地域の活性化に取り組むことができるのではないかとと思われる。

今回の探究学習で立てた仮説や他地域との比較データを持ちながら実際に地域に出向いて活動すると現状がより理解できる。

今後も継続的な取り組みを積み重ね、探究を深めることで魅力ある提言を行い地域活性化の一助を担いたい。20年後30年後の将来の地域を担う人材育成の意味でこの事業は持続的な取り組みが必要である。

2 塩竈市長とのまちづくり意見交換会

7月27日に塩竈市の佐藤市長が来校し、生徒と意見交換をおこない、塩竈市の公共施設や道路・鉄道など、日頃生活の中で利用していて感じたことや見たこと、また、改善すべき点などを積極的に市長に伝えたことをきっかけに本年度も意見交換会を開催することとなった。

当日は塩竈市長の進行でフリートークという形で会が進んだ。

生徒からは、新型コロナウイルス関連で部活動の活動の場が縮小されている現状を理解してもらい、市の協力のもとで活動できる場を検討願いたいとの意見が多かった。市からの回答としては発表会などはコロナの影響で開催するにはリスクがあるが、市の体育館などが空いているときにできないか検討するとの回答を得た。そのほか、塩釜駅近くの見通しの悪い交差点での交通マナーや、小中学校との部活動をとおしての交流の場などの意見が出された。

市長との意見交換会①	市長との意見交換会②	市長との意見交換会③
		
塩竈第二小学校の壁画プロジェクト	文化部発表会	スノードーム（おみやげ品）
		

3 生徒会活動

- (1) 生徒会執行部は塩竈第二小学校の壁画プロジェクトに参加し、地元出身のアーティストの方々と協力して鮮やかな風景を描いた。
- (2) 「部活プロジェクト」を立ち上げ、地域の中学生を招いての「塩高スペシャルトレーニング」や、地域の中学校へ出向いての「部活お助け隊」、高校1年生を対象に、将来のリーダー育成をねらいとした「アスリートサポート」を実施した。
- (3) 塩釜高校文化部発表会

中止となった文化祭の代替行事として、文化部発表会を実施した。演劇部・美術部は塩竈市の施設を利用し、地域の方々に広く発表することで地域の方々との交流を深めることができた。

4 ビジネス科地域貢献プラン

ビジネス科による地域貢献プラン「地域の観光を考える」では「塩竈の観光を活性化させるには？」「塩竈に多くの観光客に来てもらうために」をテーマに一人一人がお勧めの観光プランの企画や新しいおみやげ品を考案しデザインした。